

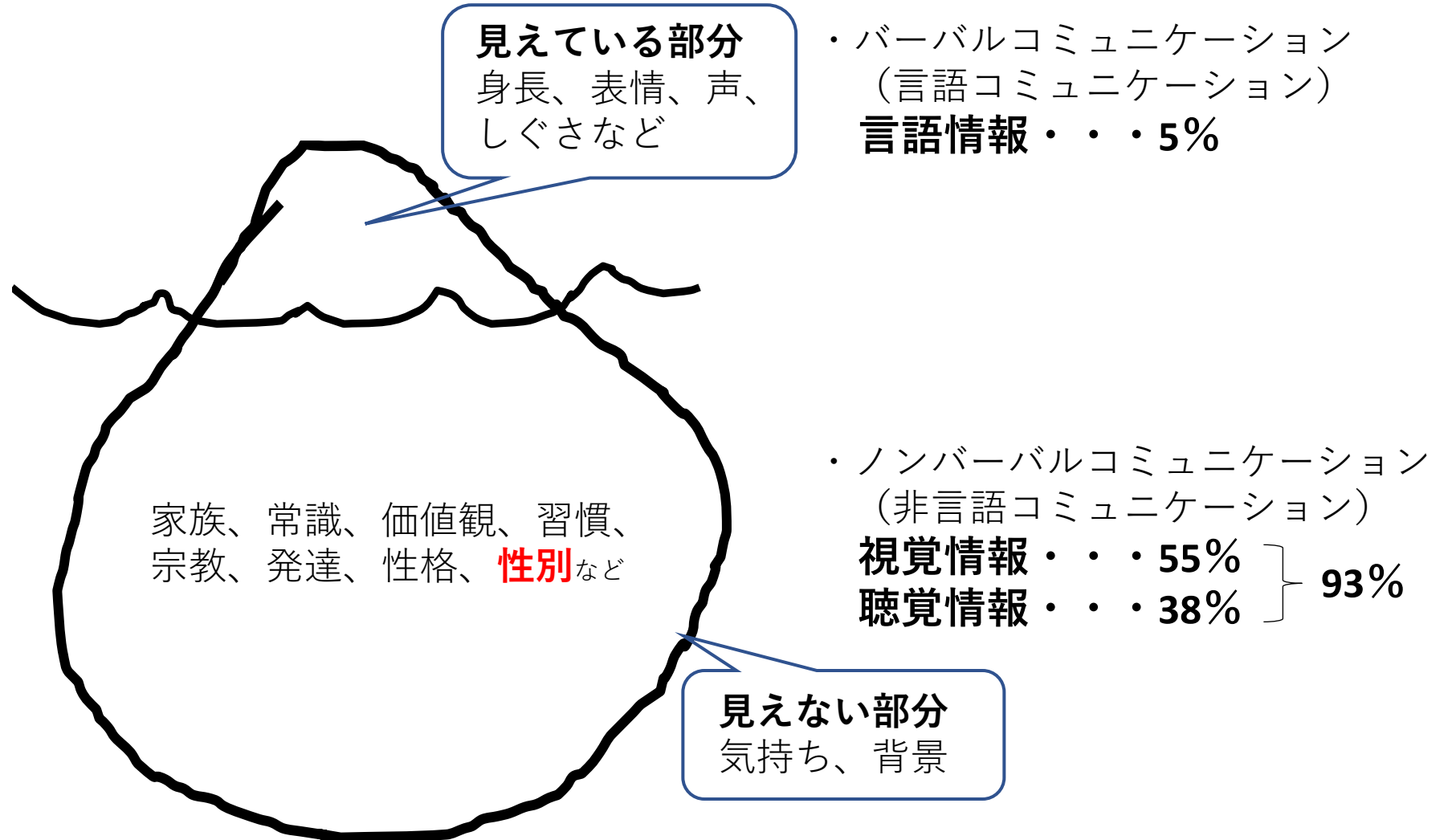
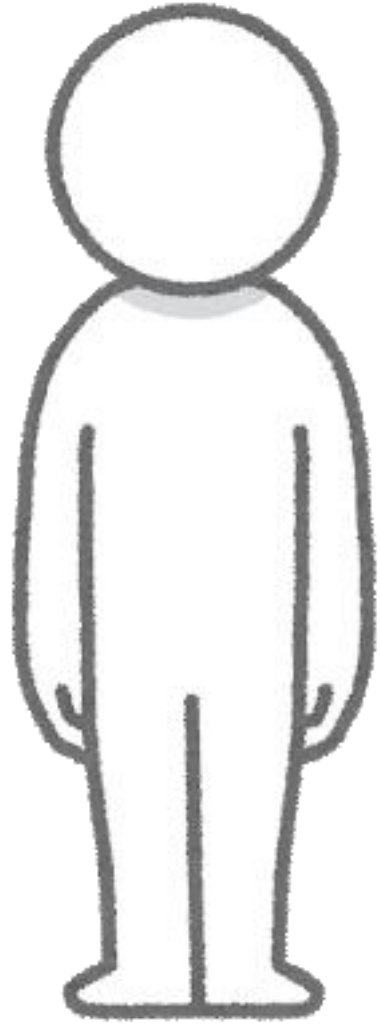
子どもの多様性の理解

2021.11.07

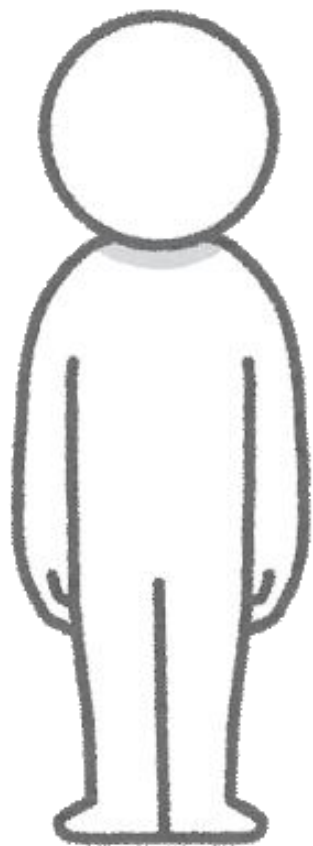


NPO法人チャイルドライン支援センター

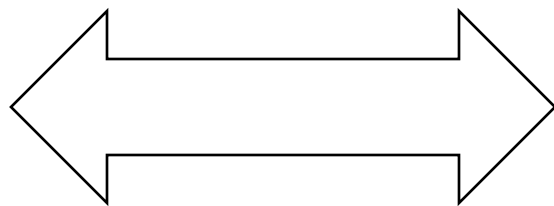
高橋弘恵



見えない部分は言語化して話してもらわないとわからない



家族、常識、価値観、習慣、
宗教、発達、性別、性格など



家族、常識、価値観、習慣、
宗教、発達、性別、性格など

学校

人間関係 いじめ 恋愛
成績 部活 体罰
性暴力 校則 進路

家庭

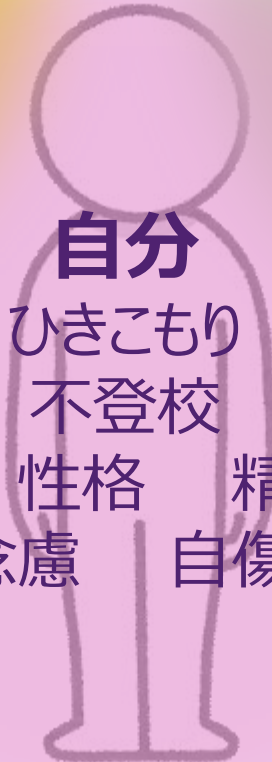
虐待 兄弟からの暴力
貧困 ヤングケアラー
親の精神疾患 ひとり親
国籍

自分

孤独 ひきこもり 発達
非行 不登校 容姿
障がい 性格 精神疾患
希死念慮 自傷行為

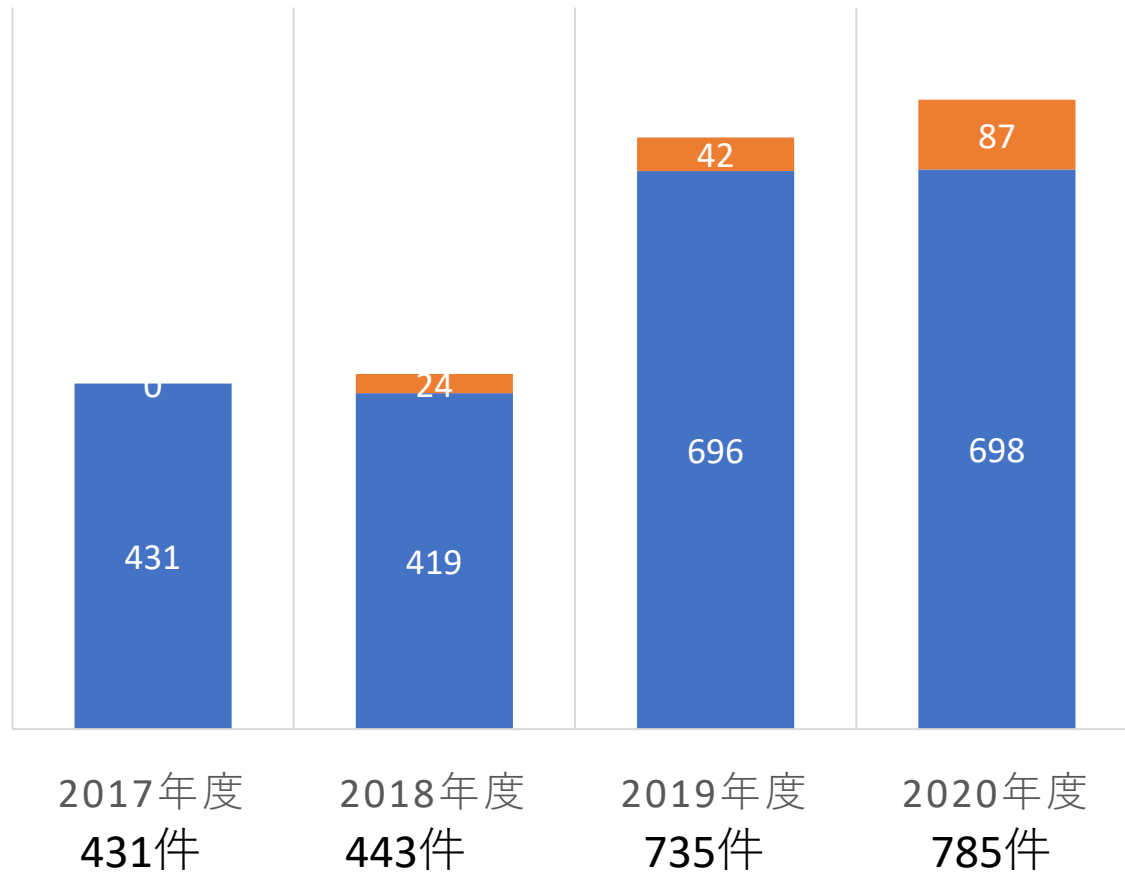
地域

SNS



チャイルドラインに入る「性の多様性」

■ 電話 ■ チャット



チャイルドラインは匿名性尊重をスタンスとしているため、同じ子どもが複数回アクセスしている場合があることに留意が必要



チャイルドライン支援センターのHPに『つぶやく』という書き込むだけのページを設置したところ「性の多様性」に関する書き込み割合が電話やチャットよりも多くなっていることが分かった。

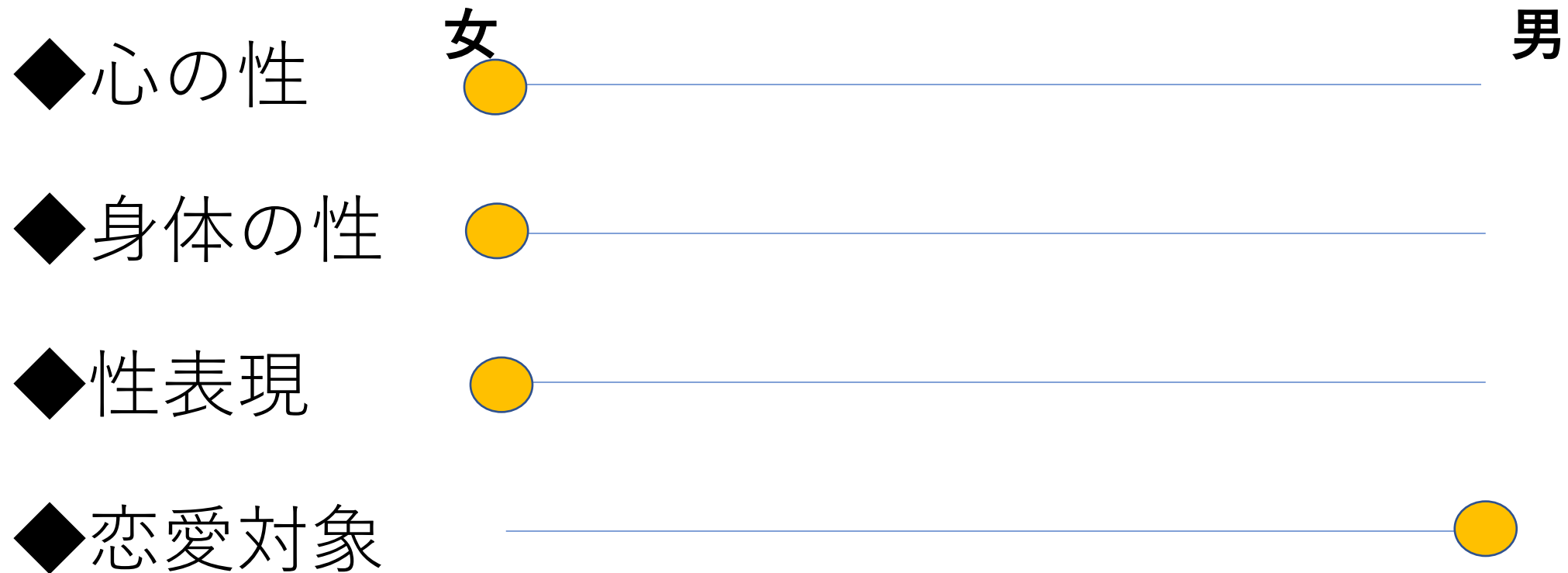
多様な性

- L レズビアン
- G ゲイ
- B バイセクシュアル
- T トランスジェンダー
- Q クエスチョニング
- I インターセックス
- A アセクシュアル

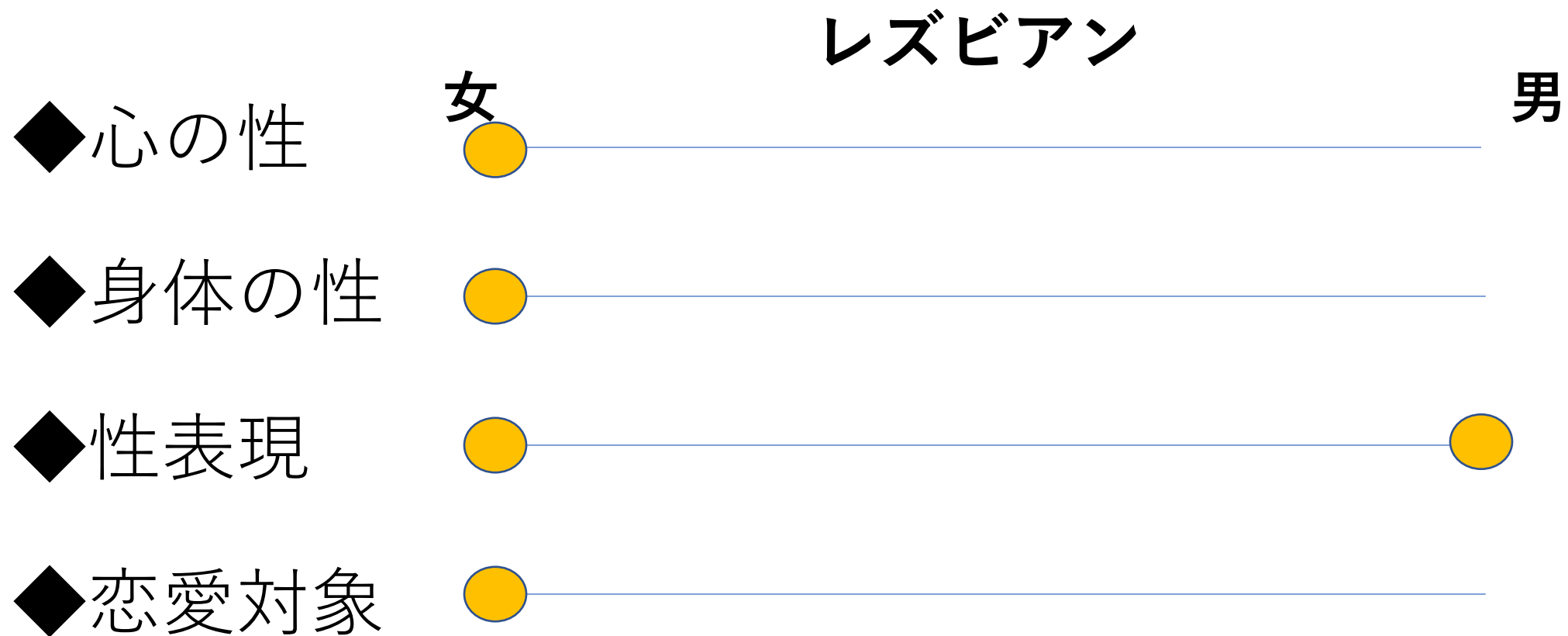
他にXジェンダー、パンセクシャル、ポリアモリー 等々
ヘテロセクシュアル（異性愛者）



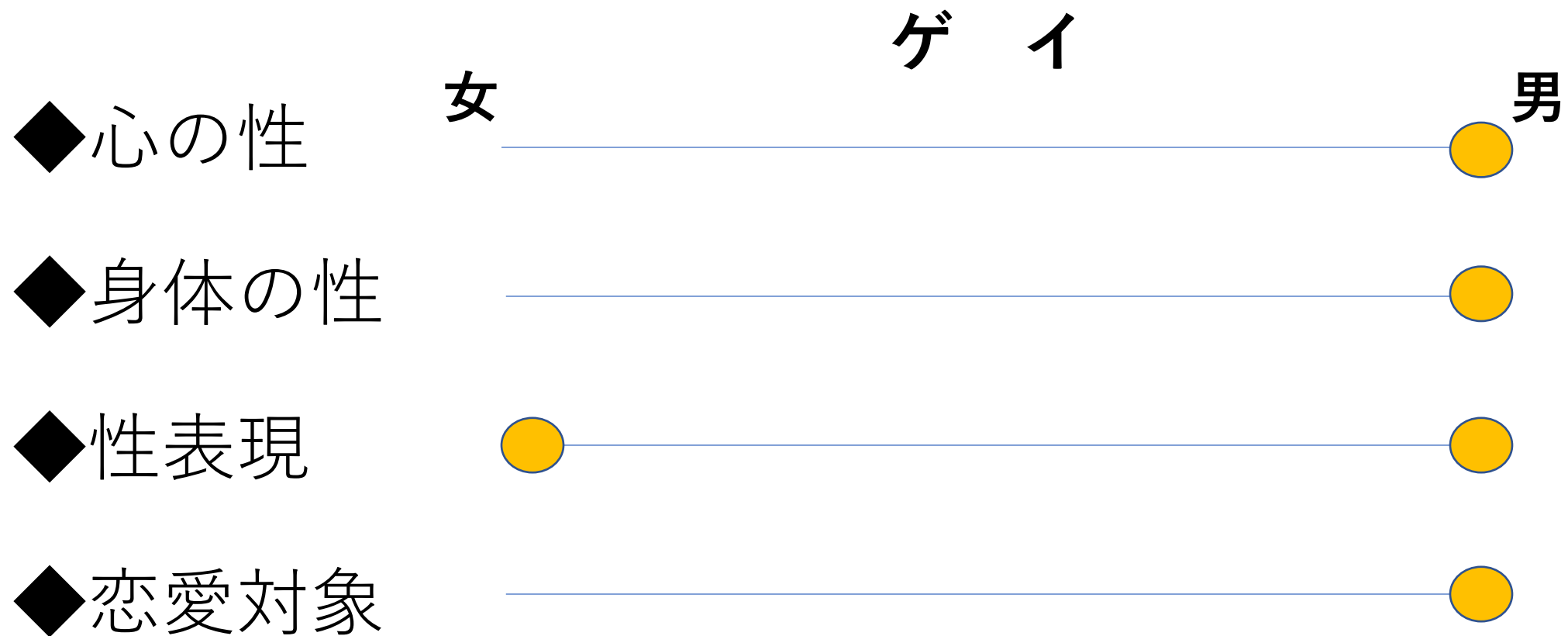
性別の決定要素



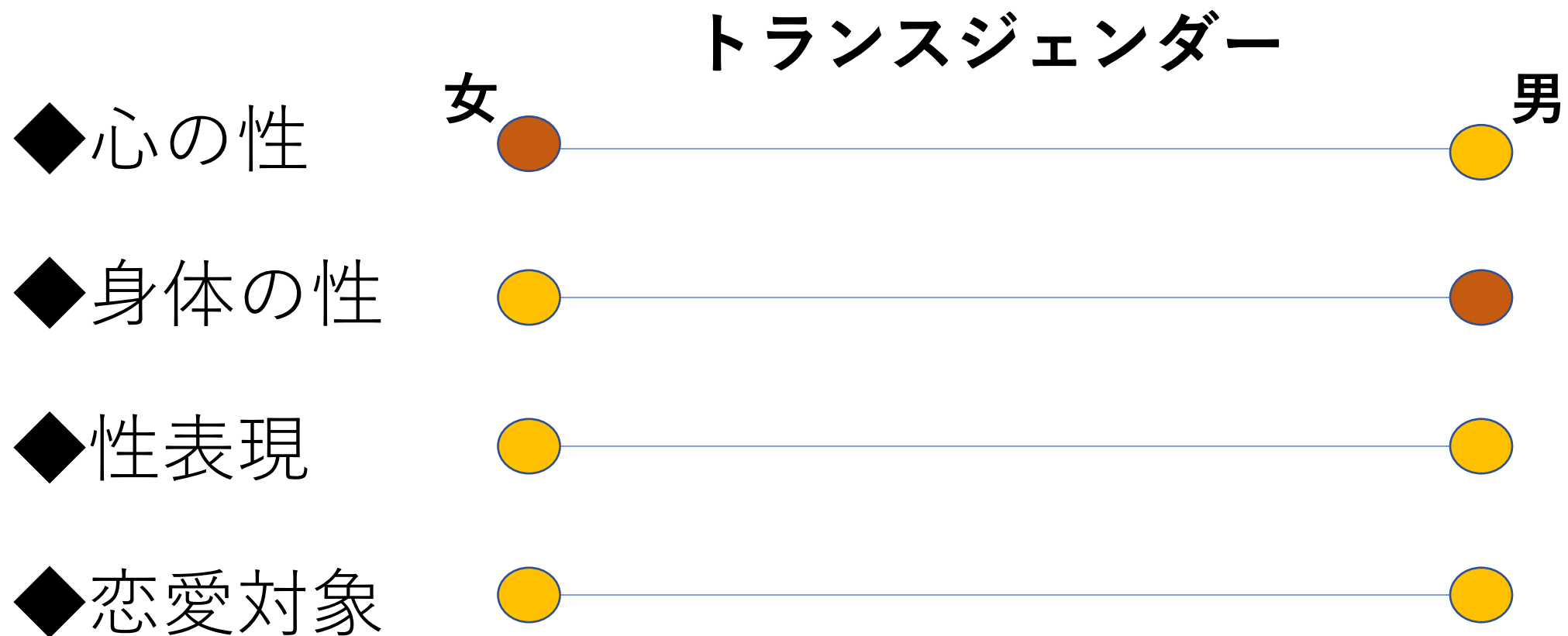
性別の決定要素



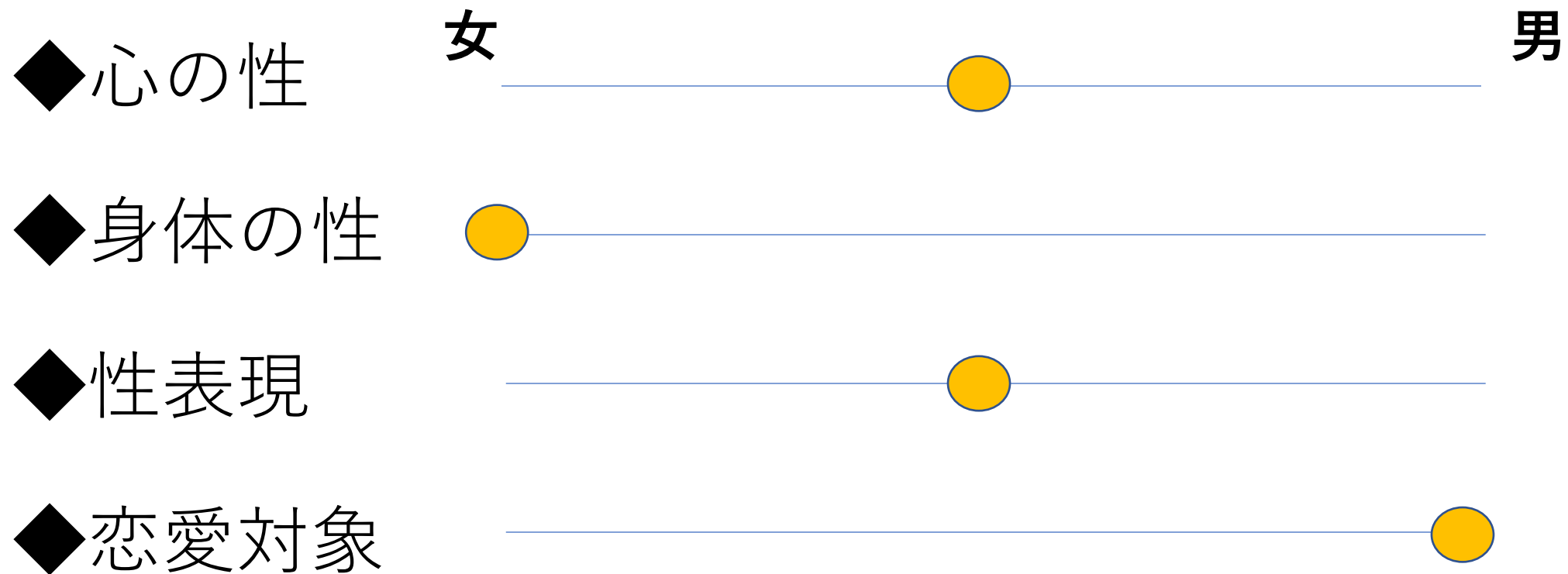
性別の決定要素



性別の決定要素



性別の決定要素



SOGIEという考え方

Sexual **O**rientation (性指向)

Gender **I**dentify (性自認)

Sexual **E**xpression (性表現)

体の性がどうであれ、すべての人の個々のセクシャリティの在り方がどうかという概念、尺度

「LGBTQ+」はマイノリティに対しての分類

性の情報はどんどん更新されている

アドボケイトに必要なのはどんなあなたもそのままでOKという人権意識と
専門家ではないという自覚、そして学び続ける気持ち

アライ/ALLY の存在

「味方」「仲間」「同盟」の意

セクシャルマイノリティの理解者に対して使われてきたが、最近はその他のマイノリティに対しても使われる

子どもアドボケイトは子どもの**ALLY**であると言えるが、マイノリティに限らずどの人にも**ALLY**は必要